

141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん

■ 基本情報

氏名			
姓(漢字)	名(漢字)		
姓(かな)	名(かな)		
住所			
郵便番号	住所		
生年月日等			
生年月日	西暦	年 月 日	性別 1.男 2.女
出生市区町村			
出生時氏名 (変更のある場合)	姓(漢字)	名(漢字)	
	姓(かな)	名(かな)	
家族歴			
近親者の発症者の有無	1.あり 2.なし 3.不明 発症者続柄 1.父 2.母 3.子 4.同胞(男性) 5.同胞(女性) 6.祖父(父方) 7.祖母(父方) 8.祖父(母方) 9.祖母(母方) 10.いとこ 11.その他( )		
両親の近親結婚	1.あり 2.なし 3.不明 詳細:		
発病時の状況			
発症年月	西暦	年 月	
社会保障			
介護認定	1.要介護 2.要支援 3.なし	要介護度	1 2 3 4 5
生活状況			
移動の程度	1.歩き回るのに問題はない 2.いづらか問題がある 3.寝たきりである		
身の回りの管理	1.洗面や着替えに問題はない 2.いづらか問題がある 3.自分でできない		
ふだんの活動	1.問題はない 2.いづらか問題がある 3.行うことができない		
痛み/不快感	1.ない 2.中程度ある 3.ひどい		
不安/ふさぎ込み	1.問題はない 2.中程度 3.ひどく不安あるいはふさぎ込んでいる		

■ 診断基準に関する事項

症状の概要、経過、特記すべき事項など

--

A. 症状 (該当する項目に☑を記入する)

1. 複雑型熱性けいれんなどの海馬硬化をまねく先行損傷が存在する	1.あり 2.なし 3.不明
2. てんかん発作 (6-14歳の発症が多い)	1.あり 2.なし 3.不明
てんかん発作型 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 単純部分発作 <input type="checkbox"/> 複雑部分発作 <input type="checkbox"/> 二次性全般化発作	
3. 発作が上腹部不快感などの前兆で開始し (前兆がないこともある)、意識減損した後に強直あるいは口や手などの自動症を生じ、発作後にもろろ状態を呈する。二次性全般化発作がみられることもある。	1.あり 2.なし 3.不明
4. 各種抗てんかん薬に抵抗性である	1.あり 2.なし 3.不明

B. 検査所見

1. MRI で両側性に海馬の萎縮と信号強度の変化を認める	1.該当 2.非該当 3.不明
2. 脳波で両側前側頭部に棘波もしくは鋭波を認める	1.該当 2.非該当 3.不明
3. PET で側頭葉の低代謝を認める	1.該当 2.非該当 3.不明
4. SPECT で側頭葉の低灌流を認める	1.該当 2.非該当 3.不明

C. 鑑別診断

以下の疾病を鑑別し、全て除外できる。除外できた疾病には、☑を記入する。	1. 全て除外可 2. 除外不可 3. 不明
<input type="checkbox"/> 他のてんかん <input type="checkbox"/> 心疾患で意識減損を伴う疾患 <input type="checkbox"/> 代謝性疾患で意識減損を伴う疾患 <input type="checkbox"/> 心因性非てんかん発作	

<診断のカテゴリー> (該当する項目に☑を記入する)

- 症状 (A-3, 4)、かつ検査所見 (B-1, 2) が揃えば診断される
- 検査所見 (B-1) で両側性の海馬硬化が明瞭でないが、一側内側側頭葉の外科治療後に、症状 (A-3, 4) を満たし、非切除側に発作時脳波を認める (対側に由来する発作が残存する症例も含まれる)

■ 臨床所見 (該当する項目に☑を記入する)

外科治療	1.あり 2.なし 3.不明
先行損傷	1.あり 2.なし 3.不明
ある場合その詳細 <input type="checkbox"/> 複雑型熱性けいれん <input type="checkbox"/> 髄膜・脳炎 <input type="checkbox"/> 外傷 <input type="checkbox"/> 虚血性低酸素脳症 <input type="checkbox"/> けいれん重積 <input type="checkbox"/> その他	
併存症	1.あり 2.なし 3.不明
ある場合その詳細 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 記憶障害 <input type="checkbox"/> 失語 <input type="checkbox"/> 精神病症状 <input type="checkbox"/> 気分障害 <input type="checkbox"/> 心因性発作 <input type="checkbox"/> その他の精神症状 <input type="checkbox"/> 身体症状 <input type="checkbox"/> その他	
てんかん重積状態	1.あり 2.なし 3.不明
発作寛解期間	1.あり 2.なし 3.不明

■ 重症度分類に関する事項 (該当する項目に☑を記入する)

精神保健福祉手帳診断基準における「G40 てんかん」の障害等級判定区分

イ.意識障害はないが、随意運動が失われる発作	<input type="checkbox"/> 年に2回未満	<input type="checkbox"/> 年に2回以上かつ月に1回未満	<input type="checkbox"/> 月に1回以上あり
ロ.意識を失い、行為が途絶するが、倒れない発作			
ハ.意識障害の有無を問わず、転倒する発作	<input type="checkbox"/> 年に2回未満	<input type="checkbox"/> 年に2回以上かつ月に1回未満	<input type="checkbox"/> 月に1回以上あり
ニ.意識障害を呈し、状況にそぐわない行為を示す発作			

精神症状・能力障害二軸評価 (2) 能力障害評価

<input type="checkbox"/>	1.精神障害や知的障害を認めないか、または、精神障害、知的障害を認めるが、日常生活および社会生活は普通に出来る
<input type="checkbox"/>	2.精神障害、知的障害を認め、日常生活または社会生活に一定の制限を受ける
<input type="checkbox"/>	3.精神障害、知的障害を認め、日常生活または社会生活に著しい制限を受けており、時に応じて支援を必要とする
<input type="checkbox"/>	4.精神障害、知的障害を認め、日常生活または社会生活に著しい制限を受けており、常時支援を要する
<input type="checkbox"/>	5.精神障害、知的障害を認め、身の回りのことはほとんど出来ない

■ 人工呼吸器に関する事項 (使用者のみ記入)

使用の有無	1.あり			
開始時期	西暦 年 月	離脱の見込み	1.あり 2.なし	
種類	1.気管切開口を介した人工呼吸器 2.鼻マスク又は顔マスクを介した人工呼吸器			
施行状況	1.間欠的施行 2.夜間に継続的に施行 3.一日中施行 4.現在は未施行			
生活状況	食事	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助	車椅子とベッド間の移動	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 軽度介助 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	整容	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助/不可能	トイレ動作	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	入浴	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助/不可能	歩行	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 軽度介助 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	階段昇降	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 不能	着替え	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助
	排便コントロール	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助	排尿コントロール	<input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 部分介助 <input type="checkbox"/> 全介助

医療機関名	指定医番号
医療機関所在地	電話番号 ( )
医師の氏名	印 記載年月日：平成 年 月 日 ※自筆または押印のこと

- ・病名診断に用いる臨床症状、検査所見等に関して、診断基準上に特段の規定がない場合には、いずれの時期のものを用いても差し支えありません。(ただし、当該疾病の経過を示す臨床症状等であって、確認可能なものに限ります。)
- ・治療開始後における重症度分類については、適切な医学的管理の下で治療が行われている状態で、直近6ヵ月間で最も悪い状態を記載してください。
- ・診断基準、重症度分類については、「指定難病に係る診断基準及び重症度分類等について」(平成27年5月13日健発0513第1号健康局長通知)を参照の上、ご記入ください。
- ・審査のため、検査結果等について別途提出をお願いすることがあります。